

茨城県景気ウォッチャー調査 (平成15年6月調査分)

調査の目的

- ・ 経済の第一線で働いている人々から、景気に関する生の情報を得る。
- ・ その景気に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに、迅速に公表する。
- ・ 県や市町村のきめ細やかな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気判断の基礎資料となる。

調査の概要

- ・ 調査客対数…県内各地域（県北，県央，鹿行，県南，県西）ごとに60名，計300名。
- ・ 調査内容…景気の現状，先行き判断とその判断理由。
- ・ 調査時期…四半期（6，9，12，3月）ごとに実施し，翌月公表。

結果の概要（回答率93.3%）

1. 県全体の状況

(1) 現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは、「悪くなっている」・「やや悪くなっている」が減少し、「変わらない」・「やや良くなっている」が増加したため、4.8ポイント増の43.0となった。しかし、横這いを表す50は引続き下回っており、ウォッチャーは、景気の現状を厳しく判断している。

判断理由をみると、ボーナスで売上げが上昇したという声がある一方で、ボーナスが支給されても売上げが上昇しないという声が挙げられていた。また、依然として客単価・商品単価が低く売上げが上昇しないという声が多く挙げられていた。

主な判断理由

- ・ 例年民間企業のボーナス支給後は、街に活気があったが、ボーナスの使い道が決まっているようで、街に活気がない。(県北＝小売業（酒類）)
- ・ 商品単価が極端に下がることはなくなったが、一人当たりの買上点数は減少している。(県央＝スーパー)
- ・ 5月に酒類の増税があり、消費が落ちている。(県南＝製造業（食品）)

景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成14年 12月	平成15年 3月	平成15年 6月
合計		38.5	38.2	43.0
家計動向関連		36.3	35.1	41.9
小売関連		30.4	34.0	43.0
飲食関連		44.4	31.9	34.7
サービス関連		40.9	35.8	42.3
住宅関連		10.0	39.3	44.4
企業動向関連		41.5	42.8	44.3
農林水産業		43.8	46.4	53.6
製造業		46.6	44.0	45.1
非製造業		33.3	39.8	40.8
雇用関連		43.5	45.5	47.0

回答構成比

	平成14年 12月	平成15年 3月	平成15年 6月
良くなっている	3.3%	2.2%	1.4%
やや良くなっている	14.7%	11.8%	18.6%
変わらない	32.6%	36.2%	40.7%
やや悪くなっている	31.5%	36.2%	29.3%
悪くなっている	17.9%	13.7%	10.0%

(2) 先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは、「悪くなっている」・「やや悪くなっている」の回答構成比がともに減少したため、10.6ポイント増の45.4となった。しかし、横這いを表す50は引続き下回っており、ウォッチャーは、景気の先行きを引続き厳しいと見込んでいる。

判断理由をみると、前回調査で多く挙げられていたイラク戦争等海外情勢の不安の声が大幅に減り、また、株価上昇により設備投資意欲が高まるという声も挙げられていた。一方で、価格競争が激しく売上げが上昇しない、消費者の先行き不安が解消されない限り景気は上昇しないという声も挙げられていた。

主な判断理由	
・	過当競争が続き、現在より仕事量が少なくなる可能性がある。(県央＝製造業(出版・印刷業))
・	増税の実施や検討により、消費マインドが落ちている。(県西＝スーパー)
・	株価が回復傾向にあり、設備投資意欲が高まることが期待できる。(県北＝非製造業(建設業))

景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成14年 12月	平成15年 3月	平成15年 6月
合計		34.9	34.8	45.4
家計動向関連		34.1	33.4	44.2
小売関連		32.7	33.2	41.4
飲食関連		34.7	33.3	44.4
サービス関連		35.6	33.9	45.4
住宅関連		25.0	28.6	52.8
企業動向関連		35.4	35.9	47.3
農林水産業		40.6	39.3	57.1
製造業		37.5	35.3	47.3
非製造業		30.8	36.1	45.0
雇用関連		39.1	40.9	47.0

回答構成比

	平成14年 12月	平成15年 3月	平成15年 6月
良くなっている	1.1%	0.4%	0.4%
やや良くなっている	7.3%	10.0%	16.1%
変わらない	40.3%	35.8%	54.3%
やや悪くなっている	32.6%	36.2%	23.2%
悪くなっている	18.7%	17.7%	6.1%

2. 地域別の状況

<景気の現状判断DI>

	平成15年 3月	平成15年 6月	前回調査比
茨城県	38.2	43.0	+4.8
県北地域	30.1	40.8	+10.7
県央地域	39.1	40.5	+1.4
鹿行地域	39.5	41.8	+2.3
県南地域	40.7	45.5	+4.8
県西地域	41.4	46.8	+5.4

<景気の先行き判断DI>

	平成15年 3月	平成15年 6月	前回調査比
茨城県	34.8	45.4	+10.6
県北地域	28.7	42.9	+14.2
県央地域	36.8	42.7	+5.9
鹿行地域	33.0	45.9	+12.9
県南地域	35.2	43.6	+8.4
県西地域	39.7	51.8	+12.1

■調査から

県北地域

(1) 現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは40.8であり、3月調査分と比べて10.7ポイント上回り、上昇幅が全県を通じて最も大きかった。業種別にみると、家計動向関連DI及び企業動向関連DIが3月調査分を上回ったものの、雇用関連DIが3月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・管轄地域の有効求職者が過去最高となり、有効求人倍率も平成11年6月以来の低い数値となった。(公共職業安定所)
- ・当店で実施したイベントの影響で好調である。客は何もしなければ来てくれない。(レストラン)

景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成14年 12月	平成15年 3月	平成15年 6月
合計		30.3	30.1	40.8
家計動向関連		28.6	24.3	40.1
企業動向関連		30.9	39.1	42.6
雇用関連		40.0	43.8	40.0

回答構成比

	平成14年 12月	平成15年 3月	平成15年 6月
良くなっている	0.0%	1.9%	3.3%
やや良くなっている	8.8%	1.9%	11.7%
変わらない	33.3%	37.0%	43.3%
やや悪くなっている	28.1%	33.3%	28.3%
悪くなっている	29.8%	25.9%	13.3%

(2) 先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは42.9であり、3月調査分と比べて14.2ポイント上回り、上昇幅が全県を通じて最も大きかった。業種別にみると、企業動向関連DIは51.5となり横這いを表す50を上回った。

主な判断理由

- ・給料カット・ボーナスカットの状況で、客足が良くなるわけがない。(スナック)
- ・水産研究者の発表によると、夏から冬にかけてシラス曳網漁が豊漁になるとの見解が出されている。(水産関係者)

景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成14年 12月	平成15年 3月	平成15年 6月
合計		31.6	28.7	42.9
家計動向関連		27.1	25.0	38.8
企業動向関連		38.2	35.9	51.5
雇用関連		40.0	31.3	45.0

回答構成比

	平成14年 12月	平成15年 3月	平成15年 6月
良くなっている	1.8%	0.0%	0.0%
やや良くなっている	1.8%	3.7%	13.3%
変わらない	38.6%	33.3%	53.3%
やや悪くなっている	36.8%	37.0%	25.0%
悪くなっている	21.1%	25.9%	8.3%

県央地域

(1) 現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは40.5であり、3月調査分と比べて1.4ポイント上回ったが、上昇幅が全県を通じて最も小さかった。業種別にみると、家計動向関連DI及び雇用関連DIが3月調査分と比べて上回ったが、企業動向関連DIは3月調査分と比べて下回った。

主な判断理由

- ・民間企業各社の予算削減が響き、受注が減少している。(非製造業(広告代理業))
- ・今年12月までに入居すると住宅ローン減税が10年間受けられることを認知している客が多く、特に土地と同時購入する客が増えている。(住宅販売会社)

景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成14年 12月	平成15年 3月	平成15年 6月
合計		40.6	39.1	40.5
家計動向関連		40.3	36.1	38.6
企業動向関連		42.2	46.7	43.3
雇用関連		37.5	37.5	45.0

回答構成比

	平成14年 12月	平成15年 3月	平成15年 6月
良くなっている	3.6%	3.6%	0.0%
やや良くなっている	17.9%	12.7%	14.5%
変わらない	30.4%	34.5%	43.6%
やや悪くなっている	33.9%	34.5%	30.9%
悪くなっている	14.3%	14.5%	10.9%

(2) 先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは42.7であり、3月調査分と比べて5.9ポイント上回ったが、上昇幅が全県を通じて最も小さかった。

主な判断理由

- ・競合店が隣接しているため、低価格の競争になり、売上げにつながらない。(百貨店、総合スーパー)
- ・食品業界において、食の安全に対する設備投資が増えている。(製造業(一般機械器具))

景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成14年 12月	平成15年 3月	平成15年 6月
合計		38.8	36.8	42.7
家計動向関連		39.6	35.4	40.7
企業動向関連		42.2	41.7	46.7
雇用関連		18.8	31.3	45.0

回答構成比

	平成14年 12月	平成15年 3月	平成15年 6月
良くなっている	0.0%	0.0%	0.0%
やや良くなっている	12.5%	9.1%	12.7%
変わらない	42.9%	43.6%	56.4%
やや悪くなっている	32.1%	32.7%	20.0%
悪くなっている	12.5%	14.5%	10.9%

鹿行地域

(1) 現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは41.8であり、3月調査分と比べて2.3ポイント上回った。業種別にみると、企業動向関連DIが横這いを表す50となり3月調査分と比べて上回ったが、家計動向関連DIは3月調査分と比べて下回った。

主な判断理由

- ・客単価が減少し、売上げを維持するのが大変な状況である。(小売業(菓子販売店))
- ・賞与の支給率が10%アップし、社員の顔色も良くなってきた。(製造業(電気機械器具))

景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成14年 12月	平成15年 3月	平成15年 6月
合計		38.4	39.5	41.8
家計動向関連		33.3	40.3	38.6
企業動向関連		48.4	37.5	50.0
雇用関連		40.0	40.0	40.0

回答構成比

	平成14年 12月	平成15年 3月	平成15年 6月
良くなっている	3.7%	2.0%	1.8%
やや良くなっている	13.0%	10.0%	16.4%
変わらない	37.0%	40.0%	41.8%
やや悪くなっている	25.9%	40.0%	27.3%
悪くなっている	20.4%	8.0%	12.7%

(2) 先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは45.9であり、3月調査分と比べて12.9ポイント上回った。業種別にみると、家計動向関連DI及び企業動向関連DIが12月調査分と比べて上回った。

■調査から

主な判断理由

- ・鉄・セメント・消耗品等，さまざまな物品で値上げ要請が来ている。(製造業(窯業・土石製品))
- ・同業者と合併したため，様々な効果が現れてくると思う。(製造業(電気機械器具))

景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成14年 12月	平成15年 3月	平成15年 6月
合計		35.2	33.0	45.9
家計動向関連		33.3	29.8	45.7
企業動向関連		35.9	35.7	46.7
雇用関連		45.0	45.0	45.0

回答構成比

	平成14年 12月	平成15年 3月	平成15年 6月
良くなっている	0.0%	0.0%	0.0%
やや良くなっている	11.1%	12.0%	18.2%
変わらない	40.7%	30.0%	50.9%
やや悪くなっている	25.9%	36.0%	27.3%
悪くなっている	22.2%	22.0%	3.6%

県南地域

(1) 現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは45.5であり，3月調査分と比べて4.8ポイント上回った。業種別にみると，家計動向関連DI及び雇用関連DIが3月調査分と比べて上回り，家計動向関連DIは50.8となり横這いを表す50を上回ったが，企業動向関連DIは3月調査分と比べて下回った。

主な判断理由

- ・求人状況からみて3か月前と特に変わりはないが，製造業の求人が少ない。(学校就業関係者)
- ・野菜・魚の相場が下がっているが，それ以外の部門については，前年を上回っている状況にある。(スーパー)

景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成14年 12月	平成15年 3月	平成15年 6月
合計		40.1	40.7	45.5
家計動向関連		40.2	40.4	50.8
企業動向関連		42.2	40.6	33.8
雇用関連		31.3	43.8	50.0

回答構成比

	平成14年 12月	平成15年 3月	平成15年 6月
良くなっている	7.5%	3.7%	1.8%
やや良くなっている	13.2%	16.7%	23.6%
変わらない	28.3%	29.6%	36.4%
やや悪くなっている	34.0%	38.9%	30.9%
悪くなっている	17.0%	11.1%	7.3%

(2) 先行き判断

3か月前の景気の先行き判断DIは43.6であり，3月調査分と比べて8.4ポイント上回った。

主な判断理由

- ・欧米の景気が鈍化しているなど，景気回復が見通せない。(製造業(一般機械器具))
- ・ボーナスが出ない，あるいはカットされるという話が前回のボーナス時よりも少なくなっている。(自動車販売店)

景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成14年 12月	平成15年 3月	平成15年 6月
合計		34.0	35.2	43.6
家計動向関連		37.1	39.0	45.5
企業動向関連		28.1	26.6	39.7
雇用関連		31.3	37.5	45.0

回答構成比

	平成14年 12月	平成15年 3月	平成15年 6月
良くなっている	0.0%	1.9%	0.0%
やや良くなっている	5.7%	13.0%	9.1%
変わらない	43.4%	27.8%	63.6%
やや悪くなっている	32.1%	38.9%	20.0%
悪くなっている	18.9%	18.5%	7.3%

県西地域

(1) 現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは46.8で、3月調査分と比べて5.4ポイント上回り、DI値は全県を通じて最も高かった。業種別にみると、企業動向関連DI及び雇用関連DIが横這いを表す50を上回った。

主な判断理由

- ・新規求人数は増加し新規求職者は減少傾向で推移している。(公共職業安定所)
- ・法人の取引が活発化してきた。昨年の同時期に比べて、売買の取引事例が増加傾向にある。(非製造業(不動産業))

景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成14年 12月	平成15年 3月	平成15年 6月
合計		43.4	41.4	46.8
家計動向関連		39.5	34.6	41.9
企業動向関連		44.1	48.7	51.3
雇用関連		65.0	60.0	60.0

回答構成比

	平成14年 12月	平成15年 3月	平成15年 6月
良くなっている	1.9%	0.0%	0.0%
やや良くなっている	20.8%	17.2%	27.3%
変わらない	34.0%	39.7%	38.2%
やや悪くなっている	35.8%	34.5%	29.1%
悪くなっている	7.5%	8.6%	5.5%

(2) 先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは51.8であり、3月調査分と比べて12.1ポイント上回り、DI値は全県を通じて最も高かった。業種別にみると、全てのDIが横這いを表す50を上回った。

主な判断理由

- ・SARS問題が落ち着き、多少は良くなると思う。(旅行代理店)
- ・8月・9月・10月が最も忙しい月であり、現時点よりは受注があると思われる。(製造業(石材業))

景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成14年 12月	平成15年 3月	平成15年 6月
合計		34.9	39.7	51.8
家計動向関連		33.1	37.5	51.6
企業動向関連		32.4	39.5	51.3
雇用関連		55.0	55.0	55.0

回答構成比

	平成14年 12月	平成15年 3月	平成15年 6月
良くなっている	3.8%	0.0%	1.8%
やや良くなっている	5.7%	12.1%	27.3%
変わらない	35.8%	43.1%	47.3%
やや悪くなっている	35.8%	36.2%	23.6%
悪くなっている	18.9%	8.6%	0.0%